

千葉福祉園だより

第69号

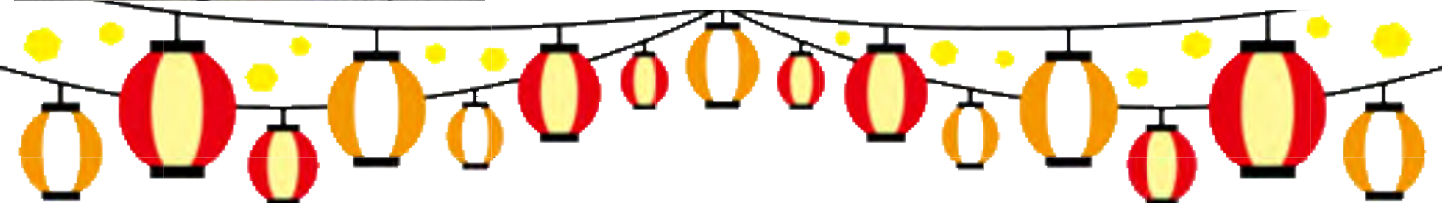
平成29年度 園まつりを開催しました



(上)市原天翔太鼓
(下)袖高ブラバン部



総合訓練センター内で開催した「ふくふくコンテスト」の様子



園まつりによせて

生活支援第四係 もえぎ寮 梶原 由貴

10月1日、朝から天候に恵まれ、さわやかな風に包まれながら平成29年度「園まつり」を開催しました。今年も30を超える多数の団体の皆様にご参加いただき、皆様のご協力のおかげで、たくさんの方々の笑顔や楽しませてくれる表情を見ることができました。オープニングでは、「袖ヶ浦高校ブラバンド部」の素敵な演奏が園内中に響き渡り、好調なスタートを切ることができました。続いて、「市原天翔太鼓」さんによる圧巻のパフォーマンスで会場全体が魅了されました。そして総合訓練センター内では、「ふくふくコンテスト」を開催しました。このコンテストは、昨年度まで実施していた「カラオケ大会」をカラオケだけに限らず、利用者さんの各々の個性・魅力を発揮していただく機会となるようリニューアルしたものです。コンテストの名称ですが、福祉園の「福」と皆に「福」が訪れるようにという願いを込めて名付けました。今回新たなスタートを切ることもなったコンテストでしたが、当日は、これまで各寮の利用者さんや寮職員が「丸」になって練習した成果を存分に発揮し、終始笑顔と歓声に包まれたコンテストになりました。最後に包まれますが、今回の「園まつり」を無事に終えることができましたのも、ひとえに保護者の皆様やボランティアの方々のご支援・ご協力あつたことと存じます。この場をお借りして心より感謝申し上げます。今後利用者さんにとって素晴らしい「園まつり」になるよう全力で努めて参ります。

長浦おかのうえ作品展



活動支援係 中丸 妙子

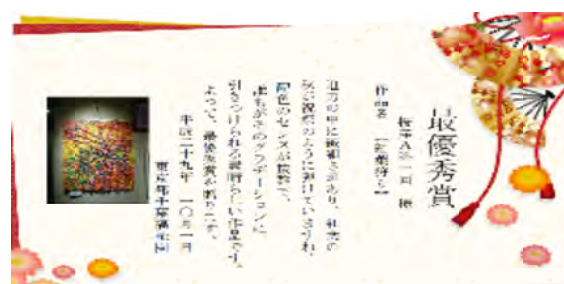
9月3日から15日までの約2週間、長浦おかのうえ図書館にて千葉福祉園の作品展が行われ、東京都障害者美術展入選作品3点の他、様々な作品が展示されました。今年度から活動支援係で始めた書道の力強い個性あふれる作品。数千の折り鶴を貼った鮮やかな紅葉の見ごたえある風景画。段ボールに折り紙を貼ってできた色鮮やかな神輿。花をモチーフにしたステンシルカレンダー。ステンドグラス風の美しい塗絵や明るい向日葵、富士山の貼り絵。思いを込めて描いた「お母さん」等、創意工夫の作品で迫力ある展示会でした。期間中に見学に訪れた利用者の皆さんも自分の作品を見て大変喜んでいました。また、感想ノートには「勇氣、元氣をいただいた。」「自分も頑張ろうと思った。」「等、多くの励ましの言葉をいただきました。今後もし作品作りを行って参ります。



個性溢れる作品をお楽しみください♪



『自然』



『福祉園神輿』



『富士山』



『花火』～点の集合～



『紅葉狩り』(最優秀賞)

OJT意見交換会

生活支援第三係長 高橋 一嘉



8月23日に7名の新任職員を対象とした「OJT意見交換会」を実施いたしました。入職して約半年間が経過し、仕事を通じての「学び」や「気づき」「困っていること」等を職員一人ひとりに発表してもらい、その後意見交換を行いました。それぞれの配属先での現場の様子や利用者支援における実践の振り返りについて聴くことができ、参加職員からは、「業務に繋がる資格を取得し、利用者支援の質向上の実践に取り組みでいきたい」「一刻も早く利用者支援ができるように実践的な研修を4月当初に実施して欲しい」等、積極的な意見が出ていました。新任職員は、経験年数が短くとも、ベテラン職員にも負けない強い想いを持ち、利用者支援に当たっていることや今後の施設運営における課題の確認等、大変有意義な時間となりました。

新任職員感想

生活支援第一係 涼山寮 蛸原 一樹

「OJT意見交換会」への参加は、今までの振り返りや疑問に思っていたこと等を整理する大変貴重な機会となりました。また、自分の意見だけでなく、他寮や他職種の新任職員からの意見を聴くことができたことは、今後の利用者支援を行う上でも、とても参考になりました。課長や係長も親身になって相談に乗ってくださり、気持ちを新たに仕事に取り組みうと改めて思いました。ありがとうございました。



意見交換会の様子



東京都社会福祉事業団

発行 東京都千葉福祉園
千葉県袖ヶ浦市代宿8番地
TEL: 0438-62-2711
<http://www.chibafuku.or.jp>

9月6日、総合防災訓練を実施いたしました。私は、自衛消防隊の消火班として参加しました。雨が降るあいにくの天気でしたが、指導いただいた消防署の「台風でも火災は起こる。」という言葉どおり、雨粒を気にすることなく訓練に集中することを心掛け、結果として、消防署からは良く動いていたとの評価をいただきました。

6月に実施した夜間火災訓練では、実際の職員体制を想定して、夜勤職員と警備員、そして自衛消防隊が主体となった実践的な訓練を行いました。こちらは慣れない動きから指摘事項も多く課題が残ることになりました。

私たち自衛消防隊は、災害時に各々がとるべき行動を考え、組織的に実行できるよう毎月訓練を行っています。



自衛消防隊による活動

各寮での避難者の確認

8月17日に、ワークキャンプでボランティアにいられたつばさ高校の生徒の皆さんと「夏祭り」を開催いたしました。ここ数年は、明星寮と合同で花火大会を行っていましたが、利用者の高齢化と障害の重度化が重なり、夜間の活動が難しくなってきたのが現状です。そこで、今年は、日中に夏祭りを開催することにしました。内容としては、「かき氷」「綿菓子」「輪投げ」「スイカ割り」と至ってシンプルではありますが、利用者の皆さんが楽しめるように、また、参加する学生たちと一緒に楽しめるように企画しました。今回は、明星寮・わかしお寮との合同での実施となり、利用者の皆さんも学生たちも大変楽しんでいましたように思います。

利用者の皆さんは、毎年来てくれる学生ボランティアの皆さんと関わることをとても喜んで利用者の皆さんの表情を見ることができました。来年度以降も、利用者の皆さんが楽しめるよう、様々なイベントを企画していきたいと考えています。



遊覧船出発、風気持ちいい



さあ、TDS楽しむぞ！



ゲートの向こうにはどんな動物がいるんだろう！

総合防災訓練

防護部第二班（消火班）副班長

生活支援第一係 けやき寮

山田 晃



夏祭り

生活支援第一係 涼山寮 吉田 和樹



スイカといえばスイカ割り！！



毎日わたあめが食べられたらなあ

児童宿泊訓練

児童生活係 つくし寮 北村 一毅



7月31日から8月1日までの2日間、本年度の「児童宿泊訓練」を実施いたしました。まず1日目は、「東京ディズニーシー」へ行きました。当日は晴天に恵まれ、とても暑い日となりましたので、参加児童の体調等が心配でしたが、どの児童もとても元気にアトラクション等を楽しんでいました。閉園時間まで遊ぶことができ、大変満足した様子が見られました。2日目は、「千葉ポートタワー」や「千葉市動物公園」へ行きました。タワー見学や千葉港めぐり遊覧船等、1日目と比べると比較的のんびり過ごしている様子を伺うことができました。参加児童の楽しく笑顔で過ごしている姿が多く見られ、大変充実した2日間となりました。

夏イベント 夏だ！わっしょい！



生活支援第三係 みずき寮 大西 俊介

7月15日、今年度も夏イベントとなる「夏だ！わっしょい！」を開催いたしました。今回のイベントでは、縁日をイメージした出店（ヨーヨー釣り・的当て）を行い、多くの方に楽しんでいただけるよう、企画者全員で頑張りました。イベント開始時には、千葉福祉園特製の「福祉園神輿」を担ぎ、皆さんの「わっしょい！」の掛け声とともに会場は大変な賑わいを見せました。

また、大運動療法室では、前半パートで「ニコニコバンド」さんにご協力いただき、コンサートを開催いたしました。全13曲というたくさんの方の歌をご披露いただき、大変な盛況となりました。後半パートでは、盆踊りをイメージし、皆さんと一緒に楽しく踊ることができました。特に、昨年度作った「福祉園音頭」が流れ出すと、利用者の皆さんの顔がとても笑顔になり、まだ作られてから1年しか経っていないのに、皆さんは「福祉園音頭」が本当に好きなんだと感じることができました。

最後に、イベントの開催に当たり、お神輿の制作、コンサート開催等、多大なご協力をいただいた皆様方に、この場をお借りしてお礼と感謝を申し上げます。ありがとうございました。



皆で大きな輪になって、大盛況の盆踊り



皆さんで作った特製お神輿を担いでいます！



ニコニコバンドさんによるコンサート

つばさ高校ワークキャンプ



活動支援係 山口 美幸

今年の「つばさ高校ワークキャンプ」は、お盆期間中に実施いたしました。期間中、日中活動はお休みでしたが、学生の受入寮では、「納涼祭・夏祭り」等が行われ、利用者さんも学生の皆さんも楽しい時を過ごし、気持ちを通わせることができました。恒例の「手話コーラス」は、4チームに分かれて各寮を回り、利用者さんに積極的に働きかけてくれました。どの利用者さんも満面の笑顔で前に出て踊っていたのがとても印象的でした。



ワークキャンプの様子



今回のワークキャンプだけではなく、「お花見会」「園まつり」「クリスマス会」と多くのボランティア経験を積んできた学生の言葉が、大変心に残っています。「接するほどに『障害者の方は優しい。』と感じるようになりました。そのことを後輩たちにも分かってもいい、大変嬉しく感じました。もっと世の中の皆さんにも知って欲しい、自分も是非とも福祉関係の仕事に就きたいと思っています。」と、とてもいい笑顔で発表していました。

あおい寮（新設）紹介



自立支援係 あおい寮 寮責任者 和田 雅行



あおい寮のスタッフ

園においては、平成27年度より利用者の高齢化・障害の重度化及び建物の老朽化等への対応として、寮の再編成を実施してきました。最終段階となる今年8月1日には、男子寮の「青葉寮（中軽度）」「水明寮（重度）」を休止し、新たにその2寮の利用者を中心に編成した「あおい寮（重度）」を開設しました。利用者さんをはじめ、ご家族様においては、住環境の変化や対人関係における不安があったらうと思います。園としては、この間十分に配慮し、設備の修繕や寮の編成には慎重に取り組んで参りました。引越し当日は、全職員の協力のもと何事もなく無事に移寮を済ませることができました。開設当初は、利用者さんも部屋やトイレの位置を間違える等の戸惑いもありましたが、3カ月を経過した現在では、落ち着いて過ごされております。スタッフ一同、今後もより良い支援が行えるよう取り組んで参りますので、引き続きよろしく願いいたします。